

アメリカ合衆国

ドナルド・トランプ大統領 閣下

駐日アメリカ合衆国大使館

臨時代理大使 ジョセフ・M・ヤング 閣下

抗議文

この度、貴国が2020年11月に、ネバダ州の核実験場で、臨界前核実験を実施していたとの報道に接した。

トランプ政権下では、2017年12月および2019年2月においても臨界前核実験が行われており、今回で3度目の実施となる。「核兵器廃絶」という国際世論に反し、貴国が今後も核兵器を持ち続けるという意思を強く示したと受け取れる。

世界で初めて核兵器の開発、保有、使用などを法的に禁止した核兵器禁止条約の発効を今年22日に控え、国際社会の核兵器廃絶に向けた機運が高まる中、今回の実験は世界の平和と安全を脅かす行為であり、到底容認できるものではない。

本市は、これまであらゆる機会を通じて、核兵器の廃絶並びに恒久平和の実現を世界に訴えてきた。

ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキを願う庄原市民を代表し、今回の貴国の実験の強行に対して強く抗議するとともに、貴国が核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う世界中の人々と庄原市民の思いを真摯受け止め、核実験はもとより、今後一切の核開発を放棄することを強く求める。

令和3年（2021年）1月18日

庄原市長 木 山 耕 三